

## 平成17年度 本寺地区地域づくり推進協議会事業計画

### 〜〜 活動方針 〜〜

今年度は、世界遺産のむら「骨寺村荘園遺跡」への一層の理解と浸透を図るため、中世の荘園をイメージできるよう中尊寺との連携も視野に入れ、農村景観としての文化的景観に関する情報を広く内外に発信すると共に、夢づくりアイデア実践チームによる多彩な活動を行うなど、荘園遺跡の活用をめざした取り組みを行う。活動の推進にあたっては、地域づくりの先進的な事例から学びながら、地区内において創意と工夫が発揮されるよう配慮しつつ、地域おこし・地域営農・土地改良の各部会とアイデア実践チームが連携した取り組みを行う。

### 〜〜 各部会の事業計画 〜〜

#### <地域おこし部会>

- ・「骨寺村荘園遺跡」の景観保全及び、活用を図るため、5つの実践チームによる地域おこしアイデアの実現に向けた活動を行う。
- ・世界文化遺産登録に向けた骨寺村荘園遺跡整備構想・史跡保存管理計画、景観条例の策定に際し、協議会としての意向や要望の取りまとめを行う。
- ・地域の将来構想の検討
- ・「骨寺通信」の発行

#### <地域営農部会>

- ・地域内で営農意向調査を実施し、この調査結果を基に営農状況や営農形態について現状分析を行い、地域営農構想の作成をめざす。
- ・夢づくりの会でまとめた地域おこしアイデアのうち、営農に関する項目については、実践チームと合同で取り組む。
- ・畦畔の草刈り作業の省力化に向け、被覆芝草実証事業を今年度も継続する。

#### <土地改良部会>

- ・荘園景観へ配慮した「保全型ほ場整備」計画の作成にあたっては、持続可能な農業経営と効率的な営農を基本に地域の意向や要望の集約を行う。
- ・ほ場整備事業の平成19年4月採択に向け、関係機関と協力しながら事業推進を図ると共に、引き続き整備費の地元負担軽減に関する要望活動を行う。

# 平成17年度 総会開催



ご来賓の方々（写真右下）

- (前列右より) 國學院大学教授 吉田敏弘様 一関市長(代理助役 坂本紀夫様)  
一関地方振興局長 藤尾善一様 岩手大学教授 広田純一様  
(後列右より) J Aいわて南代表理事組合長 木村清吉様 一関市議会産経常任委員長  
武田ユキ子様 一関市農業委員会会長(代理農地専門委員長 千田豊治様)

# 「骨寺通信」

第13号

本寺地区地域づくり  
推進協議会会報  
事務局(会長宅)  
一関市殿美町字若井原  
(電話) 略



## 若神子社周辺の

### 清掃活動を実施

五月二十八日(土)朝六時より若神子社周辺の清掃活動を実施いたしました。環境整備チームで企画した活動には、朝早くから二十五名のご参加をいただき、若神子社周辺の草刈り、木の枝片付け、放置してあった粗大ごみの撤去と、本寺川のごみ拾いを実施いたしました。これにより、同日に開催された田植え体験と遺跡めぐりにご参加いただいた地区内外の多くの方々に、きれいな荘園遺跡の風景を楽しんでいただくことができました。ありがとうございます。今後とも案内板設置や清掃など環境整備活動に取り組んで参りますので、ご協力をお願いいたします。

環境整備チーム

議事に先駆けて、ご来賓の先生方より「世界遺産登録に向けて」と題してご講演をいただき、歴史地理学が専門で骨寺村の研究調査を長年続けていくる國學院大学吉田教授から、遺跡の学術的価値についてや、最新事例を交えながら、世界遺産となる伝統的農村風景を、地域として将来に伝えることの重要性などについて、農学博士の岩手大学広田教授からは、景観保全型ほ場整備とあわせ、地域の連携協力と様々な活動をおとした実践力の向上が、将来地域づくりの力ギとなるなど、貴重なお話しをいただきました。

議事では、昨年度の三部会を中心とした活動についての報告と、今年度方針として世界遺産のむら「骨寺村荘園遺跡」への一層の理解と浸透を図るための活動や、各部会と夢づくりアイデア実践チームが連携し、地域の創意と工夫が発揮できる取り組みを行うとした事業計画案などが、全て満場の拍手で承認され、盛会で実り多い総会となりました。

平成十七年度本寺地区地域づくり推進協議会総会が五月二十八日(土)午後七時より生活改善センターにおいて開催され、関係機関の皆様、地元の方々を合わせ約七十名の出席をいただきました。

# 「骨寺村莊園」 田植え体験と



見てみてー 私すごいでしょう！



吉田先生も体験



がんばれや～

## 晴天に恵まれ盛大に開催

午前10時からのイベントには、一般参加者、地元スタッフ、大学関係、関係機関職員を合わせ約150人が参加。

駒形根神社で開会行事を行った後、いよいよ田植え体験へ。名人のご指導のもと一斉にスタート。昔ながらの田植え歌の音が響く中、泥の感触を楽しみながら、一つひとつていねいに苗を植えていきました。

昼食交流は、莊園米のおにぎりと旬の山菜でおもてなし。品数も多くおいしい料理をお腹いっぱい食べました。

午後は、地元ガイドさんを先頭に列をつくって遺跡めぐり。絵図に描かれた莊園遺跡や風景を体感しました。

最後に、地元産物がいっぱいのお土産を一人ひとり手渡し、地元芸能「おいとこ」を披露し、楽しい会が終了しました。



中屋敷跡で「いくね」を見ながら



みんなで一斉スタート



駒形根神社で開会式



「おいとこ」ご披露！ 地元食材を使った昼食交流会



田植え名人とたいこ枠での型付



### 御礼のお手紙のご紹介

盛岡市よりご家族6名でご参加いただいた、  
中村英俊様より御礼のお手紙をいただきました。

#### 前略

先日は田植え体験と遺跡めぐりに参加させていただきましたが、世界遺産候補地での田植えはもとより、郷土色豊かな昼食やおみやげ、地元の方ならではの遺跡の解説、また暖かな人情に接し、家族一同充実した一日を過ごし、感激して帰って参りました。準備は大変だったことと思いますが、もっと多くの方々に体験していただきたい素晴らしい企画でした。植えた稲の成長を祈りつつ、秋の収穫を楽しみにしております。本当にありがとうございました。 草々



晴天の下、みんなで莊園遺跡を歩きました

# 遺跡めぐり

5月28日(土)開催